



2012年3月期
決算説明会
(平成24年5月31日開催)

大研医器株式会社

(東京証券取引所市場第一部) 証券コード 7775

□ 目次

I . 2012年3月期 決算概要

II . 2013年3月期 通期業績予想・成長戦略



I. 2012年3月期 決算概要

□業績の推移

6期連続で増収・経常増益

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	前年同期比	予想対比
売上高	6,242	6,515	4.4%	△0.5%
売上総利益	2,971 (47.6%)	3,160 (48.5%)	6.4%	△0.5%
販売管理費	1,997 (32.0%)	2,145 (32.9%)	7.4%	△2.3%
営業利益	974	1,014	4.1%	3.5%
経常利益	951 (15.2%)	1,014 (15.6%)	6.6%	4.1%
当期純利益	555	404	△27.2%	7.8%

□売上構成(セグメント別)の推移

キューインポットが引続き好調

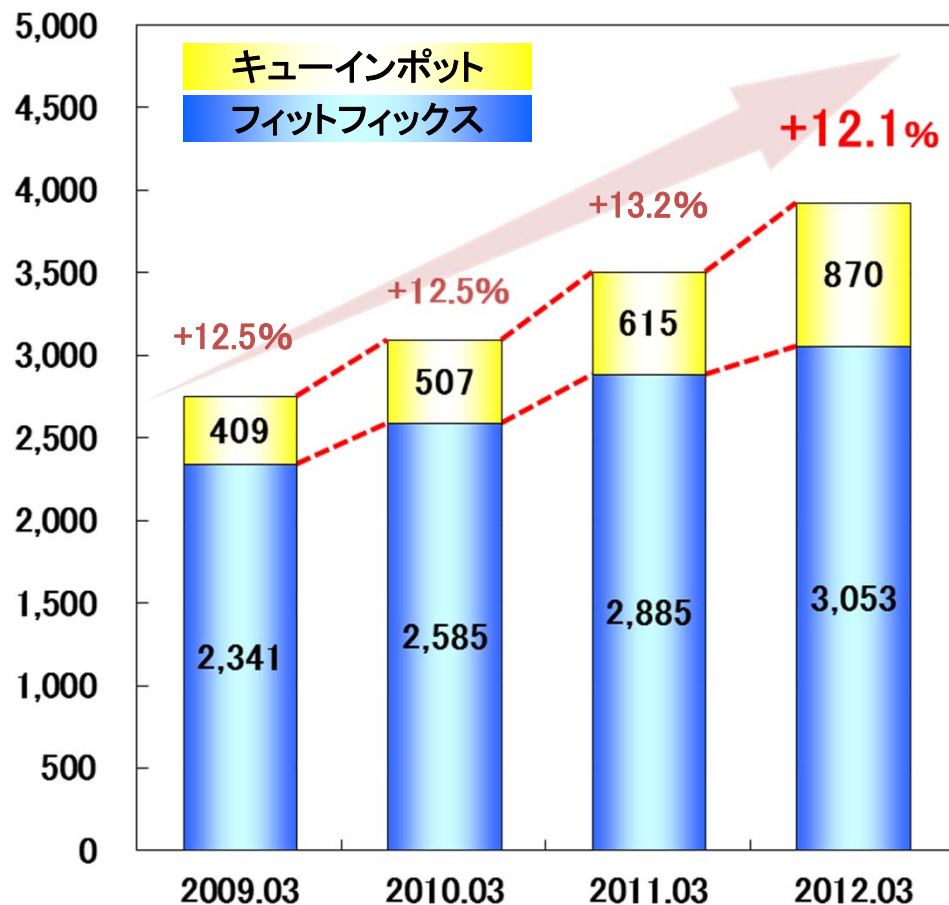
(単位:百万円)

	2011年3月期		2012年3月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
フィットフィックス関連 (キューインポットのみ)	3,500 (615)	56.1% (9.9%)	3,923 (870)	60.2% (13.4%)	12.1% (41.5%)
シリンジェクター関連 (PCAセットのみ)	1,672 (1,136)	26.8% (18.2%)	1,661 (1,178)	25.5% (18.1%)	△0.6% (3.7%)
電動ポンプ関連	146	2.3%	77	1.2%	△46.9%
手洗い設備関連	652	10.5%	633	9.7%	△2.9%
その他	271	4.3%	219	3.4%	△19.2%
合計	6,242	100.0%	6,515	100.0%	4.4%

《フィットフィックス関連》

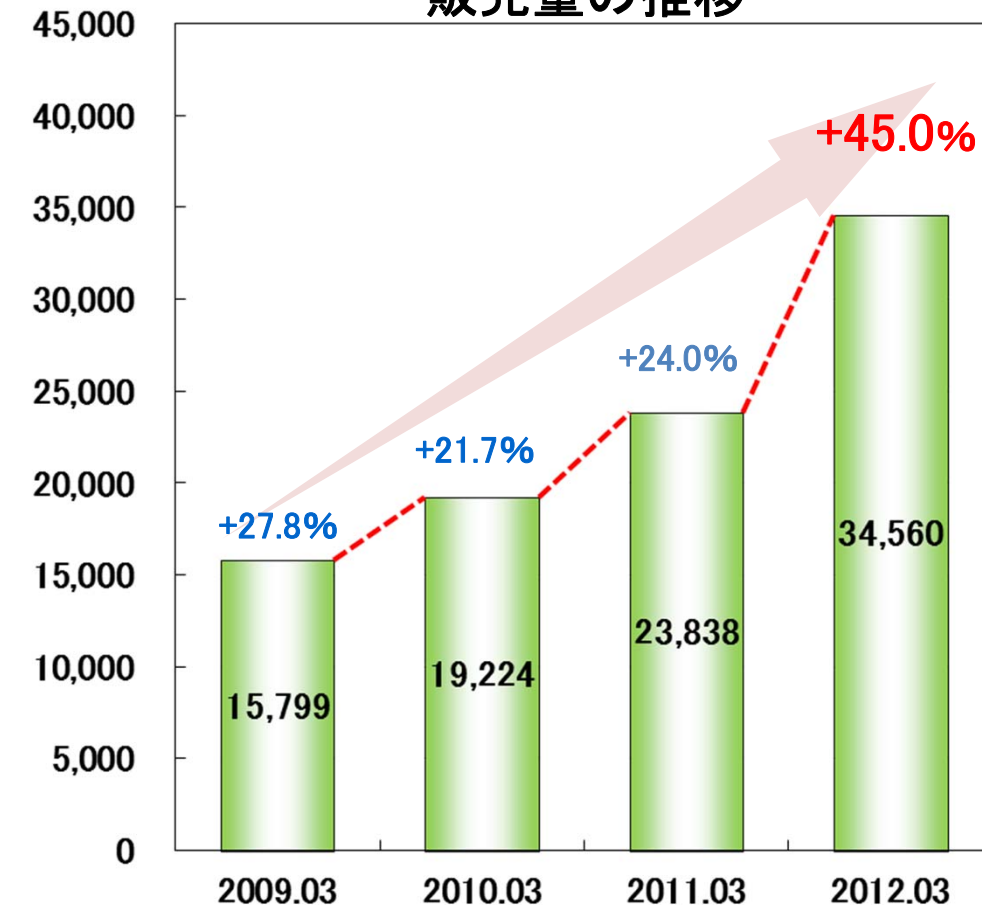
(単位:百万円)

売上高の推移



(単位:ケース)

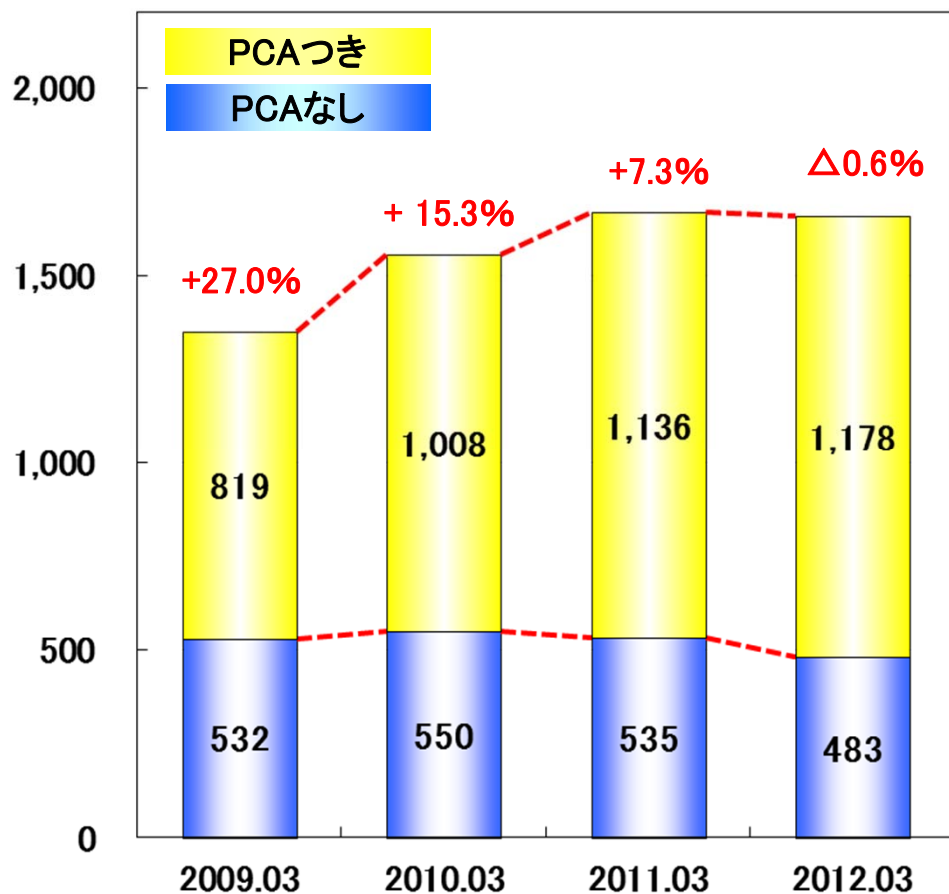
キューインポットライナー 販売量の推移



《シリンジェクター関連》

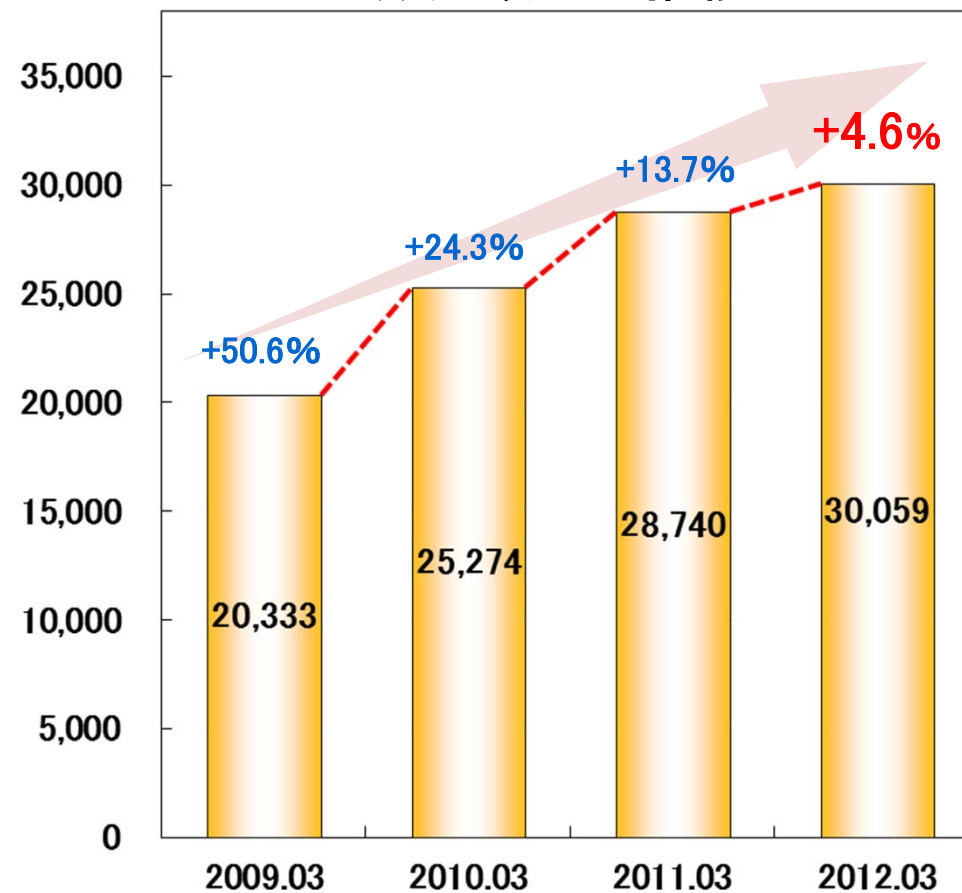
(単位:百万円)

売上高の推移



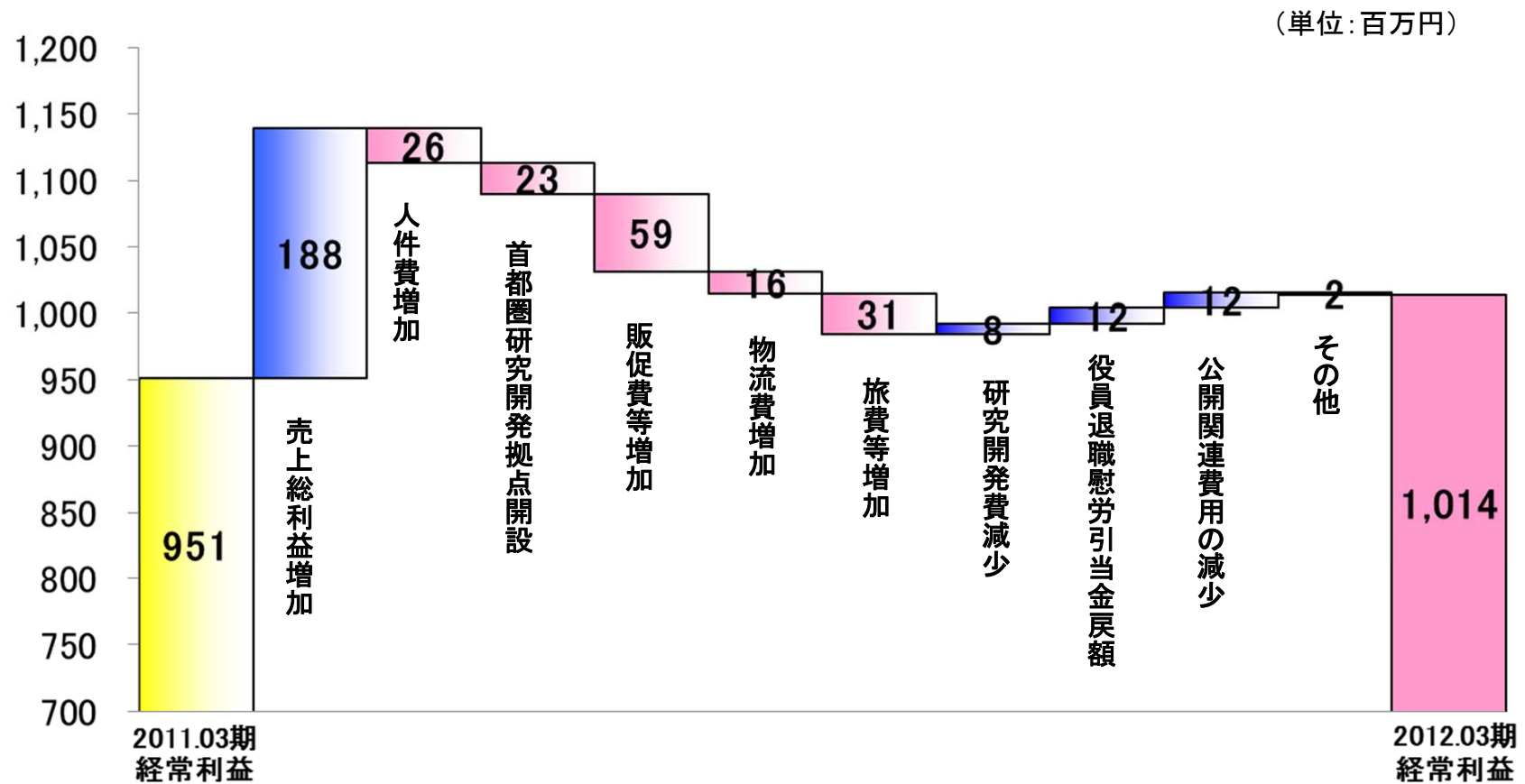
(単位:ケース)

PCAつきシリンジェクター関連の 販売数量の推移



□2012年3月期決算のポイント(経常利益差異分析)

販促活動強化により販管費増加も売上増で経常利益増加



□財政状態(貸借対照表主要科目)

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	増減	主な変動要因
現金預金	1,498	1,656	157	預金残高水準の見直しにより増加
受取手形、売掛金	2,370	2,217	△153	回収サイクルの見直しによる減少
たな卸資産	803	1,053	249	売上拡大に向けた在庫増加
固定資産(有形・無形)	2,626	2,500	△126	
その他	561	387	△174	繰延税金資産の取崩し
資産合計	7,861	7,814	△47	
支払手形、買掛金	935	789	△146	
短期・長期借入金	1,528	1,839	311	
未払金・未払費用	433	429	△4	
その他	814	355	△458	役員退職慰労引当金の取崩し(△459M)
負債合計	3,712	3,414	△297	
純資産合計	4,149	4,400	250	当期純利益(404M)、配当金支払い(△162)
負債・純資産合計	7,861	7,814	△47	



Ⅱ. 2013年3月期 通期業績予想・成長戦略

□2013年3月期通期業績予想と配当金

7期連続で増収・経常増益の見通し

(単位:百万円)

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (見通し)	増減率
売上高	6,515	7,100	9.0%
営業利益	1,014	1,136	12.0%
経常利益	1,014	1,100	8.4%
当期純利益	404	675	67.2%
1株当たりの配当金	23円	37円	60.9%

□2013年3月期商品群別売上見通し

キューインポットの拡大、新製品投入で増収見込み

(単位:百万円)

	2012年3月期 (実績)		2013年3月期 (見通し)		
	金額	構成比	金額	構成比	増加率
フィットフィックス 関連 (キューインポットのみ)	3,923 (870)	60.2% (13.4%)	4,290 (1,051)	60.4% (14.8%)	9.3% (20.7%)
シリンジェクター 関連 (PCAセットのみ)	1,661 (1,178)	25.5% (18.1%)	1,794 (1,260)	25.3% (17.7%)	8.0% (7.0%)
電動ポンプ 関連	77	1.2%	123	1.7%	59.2%
手洗い設備 関連	633	9.7%	659	9.3%	4.1%
その他	219	3.4%	234	3.3%	6.2%
合計	6,515	100.0%	7,100	100.0%	9.0%

□ 今後の成長戦略

既存領域 (麻酔・感染)

- キューインポットの継続拡販
- 新型PCA装置、新型シリンジポンプの拡販活動
- 分離肺換気用ダブルルーメンチューブの薬事申請

新領域 (救命救急・低侵襲・がん治療・在宅)

- 咽頭冷却装置の上市に向けてのプロモーション活動 (薬事申請中)
- 化学療法市場・在宅医療 (電動式吸引器含む) への進出
- 低侵襲治療に係る最先端技術の開発 (有力大学との共同研究推進)

海外展開

- 新興国 (韓国、中国、ブラジル) における吸引ビジネスへの販売集中化と戦略マーケティング
- アジア生産の安定化とコストダウン継続

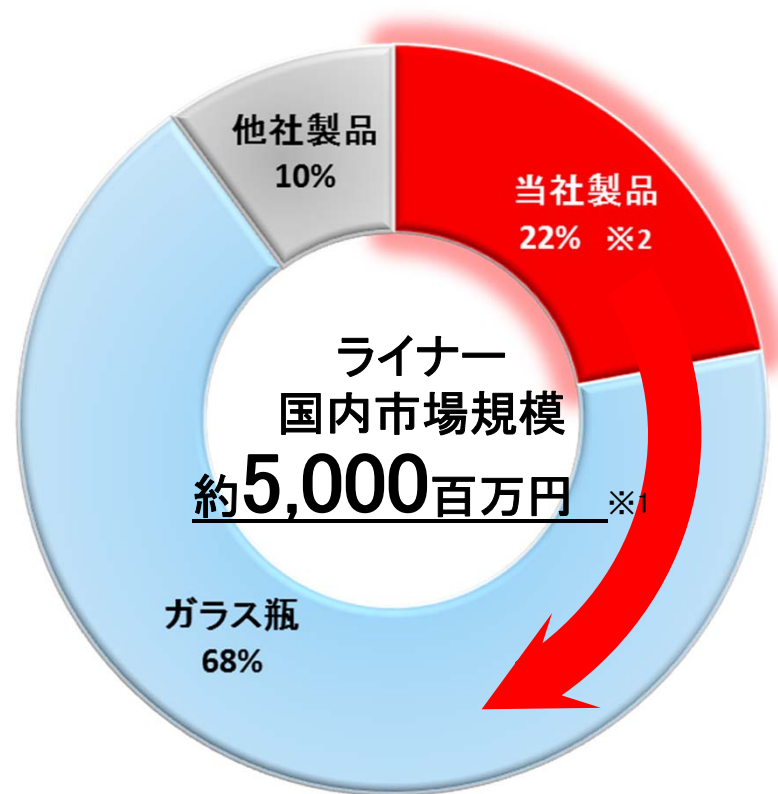
□病棟用吸引器(キューインポット)の市場拡大

～信頼の吸引器を病棟に～



PinPot®

- **商品の優位性**
 - ・吸引器市場(手術室・病棟用)で**トップシェア**
 - ・**手術室での営業ノウハウ**を最大限に利用
- **他マーケットへの新たな展開**
 - ・**介護業界**(予想国内市場**1,500**百万円)
 - (出典:厚生労働省老健局振興課 2010年7月5日 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会資料により当社推定)
 - ・**海外**(特定仕様で特定エリアへの集中的マーケティング)



※1 当社推定
 ※2 一部フィットフィックス1L含まれております。

□「疼痛緩和領域(静脈内対応)」の拡大

新型PCA(Patient Controlled Analgesia)

世界初のハイブリッド式(ディスポ式と機械式機能を併せもつ)PCA装置を上市(H23.10)

現在、新たに流量可変を可能にし(技術面と保険収載)、合せてドクターと患者様の更なるニーズを捉えた高性能化を進めております。

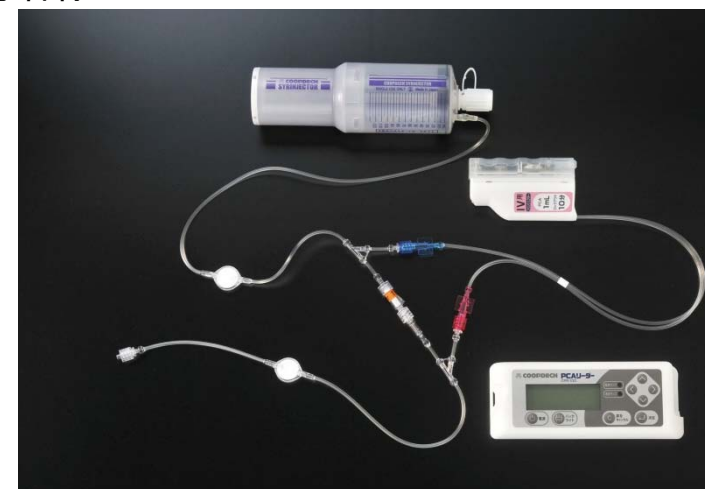
国内インフューザー(疼痛緩和領域)市場推移(数量)

マーケット全体が每期継続的な伸びを予測 (単位:万個)



持続的なシェア拡大をめざす

出典:「2011年版汎用品市場の将来展望」
(矢野経済研究所)より当社推定



前期からの取り組み

①プロモーション関連

- ◇更なる**市場ニーズ**の汲み出し
- ◇8大学による**臨床研究**
(2010年11月~2012年6月)
- ◇**学会**への積極的PR活動
 - ・日本麻酔科学会(前年5月)
 - ・日本緩和医療学会(前年7月)
 - ・日本臨床麻酔学会(前年11月) 等

②研究開発関連

- ◇ドクターの満足度—**薬液投与準備**の簡略化
- ◇患者様の満足度—**操作感**の充実
- ◇幅広い痛みに対応—**流量可変**に対応

③生産関連

- ◇**大量生産**に対応できる**生産設備**の構築

「救命救急領域」への進出

咽頭冷却装置

学会発表を中心にプロモーション活動を効果的に実施

商品化へのスケジュール

- ◆ 薬事申請: 申請済
- ◆ 薬事審査: 申請後約23ヶ月(平均審査期間)

開発補助事業として認可

- ◆ 厚生労働省、消防庁、経済産業省

潜在市場規模

- ◆ 年間の心肺停止患者数 11.8万人/年
(平成23年消防白書)

⇒ 約100億円の潜在市場規模

当期の取り組み

① 研究開発関連(院内用)

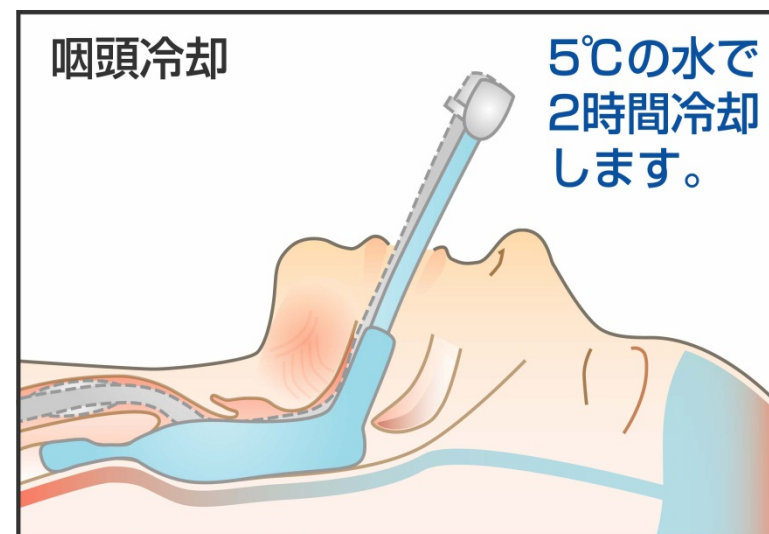
- ◇ 小型軽量化へ向けたアプローチ
- ◇ 全身冷却・復温装置の新規開発
- ◇ RCT(多施設臨床研究)の継続実施
 - ・全20施設600症例実施予定
(2011年8月～2013年12月)

② 生産関連

- ◇ 量産体制の構築

③ プロモーション関連

- ◇ 咽頭冷却専門部隊の編成
- ◇ 学会への積極的PR活動
 - ・日本麻酔科学会(6月)
 - ・日本蘇生科学シンポジウム(6月)
 - ・日本脳低温療法学会(7月)
 - ・日本救急医学会総会(11月)
 - ・日本蘇生学会(11月) 等



□「がん治療(内科・外科等)領域」への進出

化学療法用バルーンジェクター

外来、在宅での抗がん剤治療に

- (m)FOLFOX6、FOLFILI療法などの化学療法に最適な商品仕様です。
- より患者さまの安全に配慮し、可塑剤DEHPを含まないチューブを採用しました。
- 肉厚のバルーンにより安定した吐出圧力と流量を実現しました。



◆化学療法分野の加圧式医薬品注入器の市場について

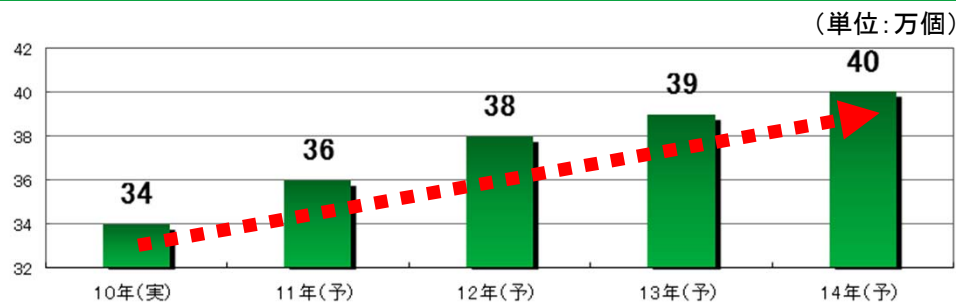
加圧式医薬品注入器
164万個(43.7億円)中、
21.0%が化学療法に
使用されています。
(2010年度)



出典:「2011年版汎用品市場の将来展望」
(矢野経済研究所)より当社推定

当社は化学療法分野未参入

国内インフューザー(化学療法)市場推移(数量)



出典:「2011年版汎用品市場の将来展望」
(矢野経済研究所)

がんの死亡者数は年々増加し35.2万人で、
全死亡者数の占める割合は約30%です。

人口動態調査:厚生労働省

化学療法の重要性はますます増加しております

新たに化学療法分野に参入することで、
疼痛緩和と合わせてがん関連での
ポジション強化を図ります。



商品開発研究所(大阪府和泉市)

本日はありがとうございました。



医療社会を未来する——

大研医器株式会社

本資料及びIRに関するお問合せ先

大研医器株式会社 財務経理部

TEL 06-6231-9917

FAX 06-6231-9902

URL <http://www.daiken-iki.co.jp/ir/>

本資料における将来の予想等に関する各数値、戦略等は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。